

# 町民からの声、期待は どのように感じたか

塔村俊介 議員

**町長** やはり子どもの数  
それが地域の将来だと



**問** 選挙を終えて町民からどのような声・期待が大きいと感じたか。

**答** やはり子どもの数だと肌で感じた。子どもの数が地域の将来である。子ども数もふやす

**問** 子どもの数をふやすためには出生率を上げるか、産む人の層を増やすこと、奥出雲は保守的なところもあり、産休・育休を取りにくい雰囲気がある。現状を調査し、相談できるような窓口が必要では。

**答** 不妊治療等も含めて総合的な相談窓口の設置

を議論して検討したい。

**問** アベノミクスの成長戦略「攻めの農林水産業」に関連した奥出雲町での戦略は。

**答** 本町においては、全国評価の高い仁多米、奥出雲和牛をはじめ、椎茸、舞茸、トマト、そば、エゴマ、キャベツ、ほうれん草等特産品があり、ブランド化をこれまで以上に推進する必要がある。

食品産業と企業との連携、地元商工業と連携した6次産業化などの攻めの農林水産業の奥出雲町バージョンをスピート感をもって構築したい。

**問** 尾道松江線の延伸に伴う奥出雲町での影響についての考えは。

**答** 高速道効果は大きいと感じる。国道314号からおろちループを通る客が前年比25%減になっており、対策を考えなければならぬ。一方、佐白温泉や鳥首温泉では広島方面からのお客様は増えており、商工会、観光関係

の方々が良い影響を取り込む対応策を考えていきたい。

**問** 目的地となれば増える可能性が大きい。昨年からの検討をしている庄原市高野町の和南原地区でのインターチェンジの計画はどのような状況か。

**答** 費用対効果でも悪くない数字が出ている。年内となれば嬉しいが、可能な限り早く申請したい。

**問** 高野インターや雲南吉田インター、出雲大社に多くの人が訪れている。広島等との広域連携への戦略は。

**答** 出雲大社と稲田神社、風土記などを活用しながら、帰りに温泉に寄って野菜を買って帰ってもらえるように、周辺自治体と首長レベルで連携したい。

**問** 広域連携は難である。モデルツアーや奥出雲まで来やすい案内標識の設置、仁多米やアイス、ソフトクリームロードなど



交通量が減少し対策が急務な国道314号線

食の魅力発信も必要だ。鬼の舌屋の吊り橋・新遊歩道開通に伴う観光戦略は。

**答** シャトルバスの運行やトイレの改修などを進めていきたい。

**問** 未耐震化の公共施設の耐震化優先順位は。

**答** 数値が一番悪いものからやっていく。一番悪い八川小が急がれる。三成小、布勢小も改修が必要である。

**問** 奥出雲椎茸の大幅赤字に伴い、人件費が削減されたが、他の三セクも含め利益が出た際には、従業員や生産者に還元する仕組みを。

**答** ポーナスの額を上乗せするなど従業員の努力に報いていきたい。